

2021年度

第34回 キッチンスペシャリスト資格試験

学科試験問題用紙

試験日：2021年12月5日

試験時間：9：45～11：45（120分）

試験問題数：全36問

（試験上の注意）

1. 受験票と写真票は、あらかじめ机の上に出しておいてください。
2. 最初に問題用紙1部、解答用紙1枚があることを確かめ、不足があれば速やかに手をあげて試験監督員に申し出てください。
3. 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないでください。
4. 解答用紙の注意事項を読んで、氏名（フリガナ、漢字）、受験番号、性別および生年月日を必ず記入およびマークしてください。※解答用紙提出前に、未記入、マーク間違いが無いかを再度ご確認ください（特に受験番号）。
5. 試験中は筆記用具以外（例えば携帯電話、電卓、参考書など）のものは使用を禁止します。
6. 解答用紙には、鉛筆またはシャープペンシル（BまたはHB）で記入してください（万年筆、ボールペンは不可）。
7. 試験問題の内容に関する質問については、誤植の確認以外の一切にお答え致しません。乱丁落丁があれば、手をあげて試験監督員に申し出てください。
8. 試験開始から90分以内および試験終了5分前以降は退室を禁止します。退出可能時間内に退出される方は手をあげて合図をし、解答用紙を試験監督員に手渡しして、静かに退室してください。
9. 問題用紙は持ち帰ってください。

公益社団法人 インテリア産業協会

【禁無断転載】



第1問 家計や家庭生活に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 生活水準の指標とされるエンゲル係数は、高度経済成長期に所得が高くなるにつれ、低下してきたが、2005年頃から上昇傾向に転じ、近年は約 ア %程度になっている。

【語 群】 1. 20 2. 25 3. 30

- 2 家計構造を比べると貯蓄残高がもっとも高いのは イ 世帯であるが、2015年から下降傾向にある。

【語 群】 1. 夫婦と未婚の子のみの非共働き
2. 夫婦と未婚の子のみの共働き
3. 高齢者

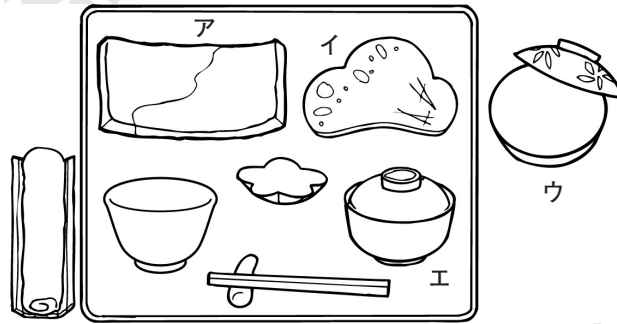
- 3 コロナ禍の影響で ウ と呼ばれる食生活スタイルは減少している。

【語 群】 1. 内食 2. 外食 3. 中食

- 4 コロナ禍における家計の消費支出の特徴として、 エ 支出が著しく減少している。

【語 群】 1. 光熱・水道 2. 教養娯楽 3. 家具・家事用品

第2問 次の懐石膳に関する配膳図中のア～エの各部分について、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。



【アの語群】 1. 香の物 2. 鉢肴（はちざかな） 3. 吸物

【イの語群】 1. 向付 2. 蒸物 3. 揚物

【ウの語群】 1. 茶碗 2. 煮物 3. 汁物

【エの語群】 1. 飯 2. 碗 3. 椀

第3問 キッチンとバスの変遷に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 最古級の火の利用の痕跡は、約90万年前の ア の洞窟や、約50万年前の北京の洞窟などで発見されている。

【語 群】 1. 南アフリカ 2. カナダ 3. メキシコ

2 日本の イ 時代に始まる竪穴住居は、内部に明かりや暖をとるための炉があり、炊事は屋外の炉で行われることが多かった。

【語 群】 1. 縄文 2. 古墳 3. 飛鳥

3 奈良時代に、東大寺に設置された入浴施設は僧侶の入浴のためばかりでなく、社会活動、布教活動の一環として貧しい人々や病人などに対する ウ にも用いられた。

【語 群】 1. ふるまい風呂 2. 風呂講 3. 施浴

4 大正時代には「台所、浴室、便所は互いに接近するが利益である」の考えもあり中流のモデル住宅には、これらが エ 側にまとめられることも多かった。

【語 群】 1. 西 2. 北 3. 東

第4問 日本のキッチンの歴史に関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

明治時代後期中流層向けの住宅では、台所は ア ・便所・女中部屋に続く暗い空間で、一般的に イ を燃料として炊飯をし、水は水がめに溜め、明かりは ウ であった。大正時代になると、西洋風の エ が提唱され、昭和時代になって都市部を中心に、台所の担い手が女中から主婦へと変わっていったこともあり、定着していった。

【アの語群】 1. 寝室 2. 風呂 3. 次の間

【イの語群】 1. ガス 2. 電気 3. 炭

【ウの語群】 1. ろうそく 2. 石油ランプ 3. 白熱電球

【エの語群】 1. 立式台所 2. ステンレス流し台 3. セクショナルキッチン

第5問 暮らしと住まいの変遷に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 平安時代に貴族の邸宅として完成した日本の住宅における代表的な様式

【語 群】 1. 数寄屋造 2. 書院造 3. 寝殿造

イ 都市の中産階級の間で明治時代後期から大正時代に普及したもので、使用人から家族のプライバシーを守る間取りを持つ住宅

【語 群】 1. 中廊下型住宅 2. 和洋館並列型住宅 3. 居間中心型住宅

ウ 関東大震災後の復興期に設立され、東京や横浜の都市市街地に集合住宅を建設した組織

【語 群】 1. 住宅営団 2. 同潤会 3. 日本住宅公団

エ 1950年代にダイニングキッチンが公営住宅に採用され、それ以降急速に普及した起居様式

【語 群】 1. 椅子座 2. 床座 3. 半跏椅座

第6問 住宅の供給、構造、環境への取り組みに関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 新設住宅着工戸数（年間）は、第1次オイルショックがあった1973年の約 万戸をピークとし、その後は少子高齢化の進行などの影響から減少している。

【語 群】 1. 110 2. 150 3. 190

2 日本の気候風土に合うとされる は、主として柱や梁で構成され、外観や間取り、開口部の取り方が比較的自由で、増築も容易であることを特徴とする。

【語 群】 1. 木造軸組工法 2. 丸太組工法 3. 枠組壁工法

3 構造体としての強靱な性能を持ち合わせた は、耐火性、遮音性に優れ、ラーメン構造、壁式構造のいずれにも採用されている。

【語 群】 1. 組積造 2. 鉄骨造 3. 鉄筋コンクリート造

4 環境と経済を両立する循環型社会を形成するため、住宅業界においても3R（スリーアール）「」、「Reuse」、「Recycle」により、環境負荷を低減する取り組みが行われている。

【語 群】 1. Reform 2. Reduce 3. Resale

第7問 キッチンのレイアウトに関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 1列型キッチンでは、調理作業等のためのスペースとして、シンクとコンロの間に少なくとも幅 mm 以上のスペースをとっておくといふ。

【語 群】 1. 300 2. 600 3. 900

2 U字型キッチンにおいて、一人で調理作業を行う場合、U字内側に少なくとも mm 程度の通路幅を確保する必要がある。

【語 群】 1. 700 2. 900 3. 1200

3 ペニンシュラ型キッチンやアイランド型キッチン等で、水跳ね防止対策が必要な場合、ワークトップ上部に高さ mm 程度の立ち上がりを設けることが望ましい。

【語 群】 1. 150～200 2. 250～300 3. 350～400

4 DK空間にダイニングテーブルを設置する際、椅子や歩行のために少なくとも mm 程度のスペースをテーブルの周囲に確保する必要がある。

【語 群】 1. 400 2. 800 3. 1600

第8問 人体寸法に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 人体寸法を設計に応用する場合、平均値を設計寸法とはせず、平均値に をゆとり寸法として加減した値を用いる。

【語 群】 1. 分散 2. 標準誤差 3. 標準偏差

2 指極の寸法は、身長に を乗じた値とほぼ等しい。

【語 群】 1. 0.8 2. 1.0 3. 1.2

3 差尺の寸法は、身長に を乗じた値とほぼ等しい。

【語 群】 1. $1/3$ 2. $1/4$ 3. $1/6$

4 肘を体側に軽くつけて手と前腕部を前に伸ばし、肘を回転中心として水平面内で手を左右に回転させることにより、平面上に描かれる領域を という。

【語 群】 1. 通常作業域 2. 立体作業域 3. 最大作業域

第9問 動作空間に関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

車いすで使用するワークトップの高さは、食事をするテーブルの高さ ア と考えてよい。ただし、その下部に奥行き イ mm 以上の下肢領域を確保する必要がある。

足腰が不自由になると入浴動作が困難になるため、浴室や浴槽への出入用、浴槽内や洗い場での立ち座り用などの手すりの設置が必要であり、握りやすい手すりの太さは ウ mm 程度が目安である。また、洗い場移動用の手すりの設置高さは エ mm がよい。

- | | | | |
|--------|------------|------------|-------------|
| 【アの語群】 | 1. より高い | 2. と同じ | 3. より低い |
| 【イの語群】 | 1. 300 | 2. 450 | 3. 600 |
| 【ウの語群】 | 1. 30 | 2. 45 | 3. 60 |
| 【エの語群】 | 1. 550～600 | 2. 750～800 | 3. 950～1000 |

第10問 照明計画に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 朝日（日の出後1時間以内）の色温度に近い光源

- 【語 群】
1. 3波長型昼光色蛍光ランプ
 2. 昼白色電球型 LED ランプ
 3. ハロゲン電球

イ 住宅内の活動領域の推奨照度（照度設計基準の維持照度）

- 【語 群】
1. 居間（読書）より台所（調理台）の方が高い
 2. 食堂（食卓）より台所（流し台）の方が高い
 3. 居間（全般）より台所（全般）の方が高い

ウ 基準光源下および対象光源下において、8試験色の見え方を比較して忠実度を表わすもの

- 【語 群】
1. 発光効率
 2. 相関色温度
 3. 平均演色評価数

エ 単位時間あたりの光のエネルギー量を比視感度を考慮して測ったもので、単位をルーメン [lm] で表すもの

- 【語 群】
1. 光束
 2. 輝度
 3. 照度

第11問 キッチンの換気に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 住宅の24時間換気システムは、換気回数 ア 回 /h 以上の機械換気設備を有する必要がある。

【語 群】 1. 0.5 2. 1.5 3. 2.5

2 新型コロナ対策では換気の悪い密閉空間にならないようにしなければならないが、一般家庭で事務作業程度の活動量における自然換気の必要換気量として イ m³/人・h が推奨されている。

【語 群】 1. 20 2. 30 3. 40

3 レンジフードの捕集性能は、換気扇の他、フードの大きさや形状に左右される。基本的には大きくて ウ ものほど捕集効率が良いが、掃除のしやすさにも配慮が必要である。

【語 群】 1. 浅い 2. 深い 3. 平滑な

4 台所、浴室、便所など湿気や臭気の多いところに多用されている機械換気方式は、給気を自然給気で、排気をファンで行う エ 機械換気である。

【語 群】 1. 第1種 2. 第2種 3. 第3種

第12問 キッチンの給排水やごみ対策に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 水道事業者が供給する水の水質基準は、 ア により規定されている。

【語 群】 1. 水循環基本法 2. 水道法 3. 水質汚濁防止法

2 家庭における排水は、一般的に イ に分類される。

【語 群】 1. 汚水・雑排水・雨水 2. 汚水・中水・雨水 3. 汚水・雨水

3 貯湯式の給湯の温度設定は、 ウ 程度にすると衛生的かつ経済的である。

【語 群】 1. 冬85℃、夏75℃ 2. 冬80℃、夏65℃ 3. 冬65℃、夏50℃

4 家庭から出る生ごみを減らし、資源として再利用する方法として エ がある。

【語 群】 1. ディスポーザー 2. フードプロセッサ 3. コンポスト容器

第13問 建築基準法による内装制限に関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

耐火建築物以外の建築物で、DK、LDK などの複合キッチン空間を設けた場合、室内全体の壁、天井に ア 以上の仕上材を使用しなければならない。また、キッチンとダイニングとの間に天井から イ cm 以上の ウ の垂れ壁を設け、かつキッチン空間の壁と天井を（ア）で仕上げれば、キッチン以外のダイニングやリビングは内装制限を受けない。

さらに、2009年の国土交通省告示により、戸建て住宅のキッチンにおいて、こんろ周りを エ で仕上げれば垂れ壁が不要となる等、内装制限が緩和された。

【アの語群】 1. 準不燃材料 2. 不燃材料 3. 特定不燃材料

【イの語群】 1. 30 2. 40 3. 50

【ウの語群】 1. 準不燃材料 2. 不燃材料 3. 特定不燃材料

【エの語群】 1. 準不燃材料 2. 不燃材料 3. 特定不燃材料

第14問 色のイメージと表し方に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 見た目の面積感覚が実際の面積よりも大きく見える色

【語 群】 1. 暗い青緑 2. 濃い青紫 3. 明るい赤紫

イ 色の硬軟感に影響する色の属性で、高い色は軟らかく、低い色は硬く感じられるもの

【語 群】 1. 明度 2. 彩度 3. 色相

ウ 光の三原色の混合量を原理とし、三刺激値の混色比により色を表し、色度図で表現される表色系

【語 群】 1. $L^*a^*b^*$ 表色系 2. XYZ 表色系 3. オストワルト表色系

エ マンセル表色系で2.5R 4 / 8 と表記された場合の明度

【語 群】 1. 2.5 2. 4 3. 8

第15問 システムキッチンの規格に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 わが国の初期のシステムキッチンは、 ア 年代初期にドイツ・イタリア等からの輸入品から始まった。

【語 群】 1. 1970 2. 1980 3. 1990

2 現在のシステムキッチンの日本産業規格（JIS イ ）は、1982年に日本工業規格「システムキッチン構成材のモジュール呼び寸法」として制定されたが、1998年に「キッチン設備の寸法」の名称に変わり、2018年の改正では機器を組み込む開口寸法等に変更があった。

【語 群】 1. A 0001 2. A 0017 3. A 4420

3 ベーシックモジュールは、建築やキッチンの最も基本となる寸法であり、わが国の JIS や国際規格（ ウ ）にも共通する100mmである。

【語 群】 1. ASTM 2. DIN 3. ISO

4 現在の「キッチン設備の寸法」では、床からウォールユニットの下端までの高さは、 $50 \times n$ で規定され、最小寸法は、 エ mm とされている。

【語 群】 1. 1200 2. 1300 3. 1600

第16問 キッチンを構成する部材に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア 扉の納まりを上下・前後・左右と3次元的に調整する機能を持ち、システムキッチンに多く使用されるヒンジ

【語 群】 1. スプリングヒンジ 2. トルクヒンジ 3. スライドヒンジ

イ ベースキャビネットやウォールキャビネットと壁面の間隙を塞ぐために、一般的には幅150mmの整数倍で準備され、現場では実測の上で切断して間口調整に使用する部材

【語 群】 1. ガスケット 2. フィラー 3. ハッチ

ウ キャビネットを構成するパネル材において、芯材に薄い化粧合板を（表裏両面に、あるいは片面のみに）貼ったもので、内部が空洞になっている構造

【語 群】 1. フラッシュ構造 2. 積層構造 3. ソリッド構造

エ シックハウス対策に係る技術的基準（国交省告示1113号）において、建築材料への使用が発散速度の区分に応じて制限されている化学物質

【語 群】 1. パラジクロロベンゼン 2. ホルムアルデヒド 3. クロルピリホス

第17問 シンクに関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

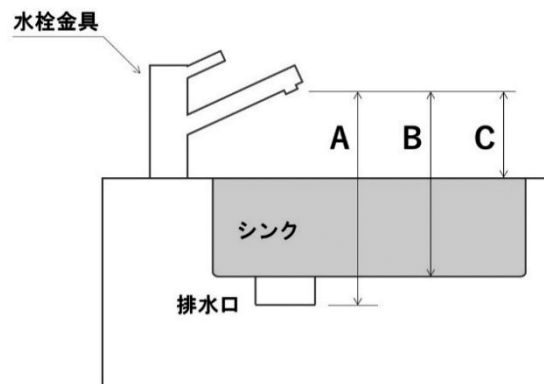
- 1 シンクの ア は、LDK に設置される複合型キッチンが多くなったことから重要になってきている。

【語 群】 1. 耐熱性 2. 静音性 3. 排水性

- 2 シンクの排水性は、20L の水を貯めた後、自然排水したとき、 イ 秒以内に排水を完了することが JIS A 4420において規定されている。

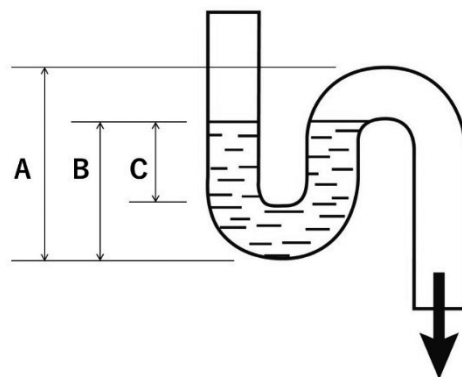
【語 群】 1. 40 2. 60 3. 85

- 3 吐水口空間は、下図のシンクと水栓金具との関係における ウ の寸法を50mm 以上確保する必要がある。



【語 群】 1. A 2. B 3. C

- 4 封水深は、下図の排水トラップにおける エ の寸法で、50mm 以上を確保する必要がある。



【語 群】 1. A 2. B 3. C

第18問 食器洗い乾燥機に関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

食器洗い乾燥機は、設置場所によってワークトップの上に置いて使用する卓上型とワークトップの下に設置するビルトイン型に分類される。卓上型は、専用のキャビネットが必要無く、設置が簡易であり、専用の ア を使用することが多い。一方、ビルトイン型は、開閉のためのスライドレールにより引出すプルオープンタイプと、ドアを手前に倒し内部のカゴを引き出して使用する イ オープンタイプに分かれる。

設置に際し、給排水配管の接続が必要となるが、給湯設備について ウ は絶対に避けなければいけない。食器洗い乾燥機に使用するコンセントにアースが接続されてない場合には、電気設備技術基準に基づき、必ず エ によって接地工事を行う必要がある。

- | | | | |
|--------|----------|------------|---------------|
| 【アの語群】 | 1. 給湯器 | 2. 排水栓 | 3. 分岐水栓 |
| 【イの語群】 | 1. プッシュ | 2. フラップ | 3. フロント |
| 【ウの語群】 | 1. 元止式 | 2. 先止式 | 3. 貯湯式 |
| 【エの語群】 | 1. 電気工事士 | 2. 電気主任技術者 | 3. 電気工事施工管理技士 |

第19問 加熱調理機器に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 日本では ア の消費量が減っていることもあり、こんろのグリル部は専用鍋での煮込み料理など多用途な調理機能を搭載した製品が増えている。

- 【語 群】 1. 米 2. 肉類 3. 魚介類

2 イ は法律で全口に安全センサーが義務化されたことを受け、メーカー各社では、全ての口にSiセンサーを搭載するようになった（平成20年より）。

- 【語 群】 1. ガスこんろ 2. 電気こんろ 3. ガスこんろと電気こんろ

3 電子レンジは ウ のマイクロ波により食品中の水分等を振動させて摩擦熱で加熱する。

- 【語 群】 1. シーズヒーター 2. マグネトロン 3. ハロゲンランプ

4 ビルトイン型のIHクッキングヒーターのハイパワータイプは、こんろ1口の最大火力が エ 程度の製品が主流である。

- 【語 群】 1. 2.0kW 2. 3.0kW 3. 4.0kW

第20問 ガス設備に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 家庭用ガス機器は、燃焼給排気の取り方から、開放型・半密閉型・密閉型・屋外設置型に分類できるが、開放型の対象機器としては、ガス炊飯器、ガスオーブン、 ア、小型瞬間湯沸器などがある。

【語 群】 1. BF 風呂釜 2. ガスこんろ 3. FF 暖房機

- 2 住宅用ガス漏れ警報器は、ガス検知器と警報出力部で構成され、技術基準が定められた検査で品質が保証されており、同警報器の有効期限は イ 年である。

【語 群】 1. 3 2. 5 3. 10

- 3 住宅用給湯器の加熱方式としては、使用する水を直接加熱するもの、加熱した高温水から熱交換するもの、排気ガス中の ウ の潜熱を回収するものなどがあり、後者2種の熱を効率的に利用するのがエコジョーズである。

【語 群】 1. 水蒸気 2. 冷媒 3. 二酸化炭素

- 4 都市ガスの原料は、主として エ である。

【語 群】 1. 液化天然ガス 2. ブタンガス 3. プロパンガス

第21問 家庭の設備に使用する電気・ガス・水道の料金に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 電気料金は、積算電力量計で計測した電力量（単位： ア）に基づいて支払う。

【語 群】 1. アンペア (A) 2. ワット (W) 3. ワット時 (Wh)

- 2 電気料金は、基本料金、電力量料金、燃料費調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金等のそれぞれに イ を含めて支払う。

【語 群】 1. 消費税 2. 都市計画税 3. 市民税

- 3 上下水道料金は、量水器で計測した水量（単位： ウ）に基づいて支払う。

【語 群】 1. キロパスカル (kPa) 2. リットル (L) 3. 立方メートル (m³)

- 4 都市ガス料金は、マイコンメーターで計測したガス量（単位： エ）に基づいて支払う。

【語 群】 1. キロパスカル (kPa) 2. メガジュール (MJ) 3. 立方メートル (m³)

第22問 関連法規に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 キッチンとダイニングを一体に設計する場合には、ダイニングキッチン全体を一つの居室として採光面積を確保することがあり、その場合には床面積が21m²であれば少なくとも ア m²以上の有効採光面積を計画することが求められる。

【語 群】 1. 2.1 2. 3.0 3. 4.2

- 2 イ は、製造物欠陥により人の生命、身体又は財産に係る被害が生じた場合における製造業者の損害賠償の責任について定めた法律で、被害者の保護を図り、国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展に寄与することを目的としている。

【語 群】 1. 消費者基本法
2. 家庭用品品質表示法
3. 製造物責任法

- 3 家電リサイクル法で対象となる家電品（業務用は対象外）は、エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、 ウ の4品目である。

【語 群】 1. 洗濯機・衣類乾燥機 2. 電気掃除機 3. 空気清浄機

- 4 容器包装リサイクル法は、容器包装廃棄物の排出量を減らし、分別収集による再商品化を促進し、廃棄物の減量と環境保全を図るため、国および エ に対しそれぞれの役割を担うことが求められている。

【語 群】 1. 市町村・事業者・消費者
2. 市町村・消費者
3. 事業者・消費者

第23問 キッチンの製図に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 キッチンや家具を配置する際に基準となる内法寸法は、対向する2つの壁の ア 距離を示すものである。

【語群】 1. 仕上面間 2. 下地面間 3. 芯々

- 2 キッチン設計の基本構想やレイアウトを示すのに使われる一般的な図は イ である。

【語群】 1. 配置図 2. 設備図 3. 平面図

- 3 透視図は、設計者が施主に ウ を伝えるのにふさわしい図法で、目で見た感じに近い表現ができる。

【語群】 1. イメージ 2. 使用部材 3. 寸法関係

- 4 床・壁・天井を同時に表現でき、対象物の奥の壁面が投影画面に対して、通常は平行となる透視図を エ という。

【語群】 1. 一点透視図 2. 二点透視図 3. アイソメトリック

第24問 キッチンの図面に関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

展開図は、キッチンの各面を ア から見た図で、キャビネットの構成等が明示される。

なお、機器・部材を用いるシステムキッチンの展開図では、機器・部材の イ を含めて表示される。

機器・部材、配管、工法などを表す ウ では、各種の記号が多用される。一般住宅の場合は、給排水設備、衛生設備、ガス設備の配管、機器類を エ 描く場合が多い。

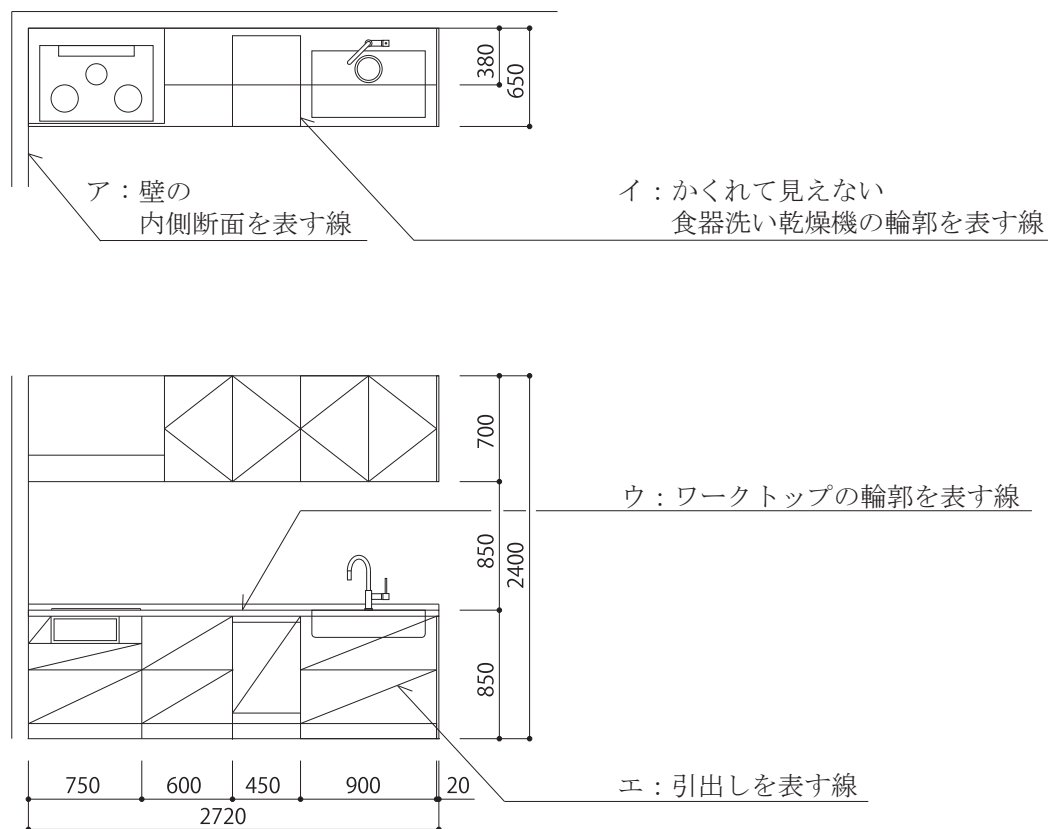
【アの語群】 1. 上面 2. 正面 3. 側面

【イの語群】 1. 重量 2. 数量 3. 品番

【ウの語群】 1. 設備図 2. 配置図 3. 部分詳細図

【エの語群】 1. それぞれ分けて 2. 1枚にまとめて 3. 電気設備と一緒に

第25問 次のキッチン図の図中のア～エの各部分を表現する線の種類について、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。



図

注1：図は、この設問のためすべての線を一律な線種、太さで示している。

注2：語群の細い線と中位の線と太い線の比率は1：2：4とする。

- | | | | |
|--------|---------|-----------|-----------|
| 【アの語群】 | 1. 太い実線 | 2. 中位の実線 | 3. 細い実線 |
| 【イの語群】 | 1. 細い破線 | 2. 細い一点鎖線 | 3. 細い二点鎖線 |
| 【ウの語群】 | 1. 太い実線 | 2. 中位の実線 | 3. 細い実線 |
| 【エの語群】 | 1. 細い破線 | 2. 細い一点鎖線 | 3. 細い二点鎖線 |

第26問 キッチンリフォームのプレゼンテーションに関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

一般にプレゼンテーションはクライアントに対して行われ ア を得て成約に結び付けることを目指して計画内容を提示・説明することをいう。施主に分かりやすく説明するために図面のレイアウトや文字の大きさ・書体、全体の配色などにも気を配ることが大切である。プレゼンテーションボードやスライド資料は、特に直感的な訴求力を持つ イ を重視して構成するとよい。

最終段階のプレゼンテーションに用いるものは、平面図、展開図、天井伏図、 ウ 、部材リスト、各部詳細図、 エ 、特記仕様書、見積書、写真、サンプルなどである。

- | | | | |
|--------|----------|--------------|----------|
| 【アの語群】 | 1. 予算 | 2. 所見 | 3. 同意 |
| 【イの語群】 | 1. 視認性 | 2. 判読性 | 3. 可読性 |
| 【ウの語群】 | 1. 立面図 | 2. 施工チェックリスト | 3. 仕上表 |
| 【エの語群】 | 1. 工事工程表 | 2. 立体表現図 | 3. 取付施工図 |

第27問 キッチンの設計に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 キッチンの計画図は、居住者の生活スタイルを考え、食事・調理を軸とするインテリア空間を実現するための図で、食生活の遂行に要求される性能とデザインを、一般的には ア を考慮して作成する。

【語 群】 1. 家族数 2. 予算 3. 所得

- 2 キッチンの機能面の主な目的は調理と イ であるが、このことを充足させるための方法は様々であり、設計者はその中から注文者の要求に相応しい回答を示すことが望まれる。

【語 群】 1. テイスト 2. スタイル 3. 収納

- 3 住戸数・販売価格などを把握して、事業化の可否を検討し、採算上可能と判断したうえで実現される発注の中間ユーザーには企画者、設計者、 ウ が介在している。

【語 群】 1. 入居者 2. 施工者 3. 最終消費者

- 4 リフォーム工事では、現況図などが揃わず現場の状況把握が難しい場合が多いことから、まずは、建築工事の躯体・下地と設備工事の エ の状況を把握することが重要である。

【語 群】 1. 部材・部品 2. 配管・配線 3. 形状・機能

第28問 キッチンの施工実務に関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

設置工事に入る前に、他の工事者と ア や取り合い部等について、綿密に打ち合わせる必要がある。木工事や内装工事では、キッチンの取付下地工事の詳細、各仕上材の仕様、 イ やフィルターなどのすき間材の有無、 ウ 施工のためにキャビネットの扉を外す必要があるか等を確認する。また、設備工事では、 エ などの突出物がキャビネット扉と干渉しないか等を確認する。

【アの語群】 1. 工事費用 2. 工事区分 3. メンテナンス方法

【イの語群】 1. 幕板 2. バックパネル 3. サイドパネル

【ウの語群】 1. ダクト 2. 電源ケーブル 3. コーキング

【エの語群】 1. 給湯管 2. 配管カバー 3. 照明器具

第29問 キッチンの施工実務に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1 L字型やU字型のフロアキャビネットの設置では、固定する前に ア などを用いて、ワークトップのジョイント部に段差が生じていないか確認する。

【語 群】 1. クランプ 2. 下げ振り 3. 直定規

- 2 施工完了後の水漏れ確認では、シンクを満水にして排水ホースの先端を止めて、少なくとも イ 時間は放置して、接合部から水が漏れないことを確認する。

【語 群】 1. 0.5 2. 1.5 3. 2.5

- 3 多くの地域の火災予防条例において、レンジフードファン付属のグリスフィルターと特定の安全装置を備えた ウ 付ガスこんろの火源との離隔距離は600mm 以上とされている。

【語 群】 1. 防熱板 2. バックガード 3. 調理油過熱防止装置

- 4 引き渡し前に施主立会いのもとで行う竣工検査において、不具合があった場合は、 エ とすることを確認し、その工事を完了させて引き渡しとする。

【語 群】 1. サービス工事 2. 追加工事 3. 駄目工事

図 1 平面図

(梁型寸法) 845

(柱寸法) 400

(仕上げ) 55

95

295

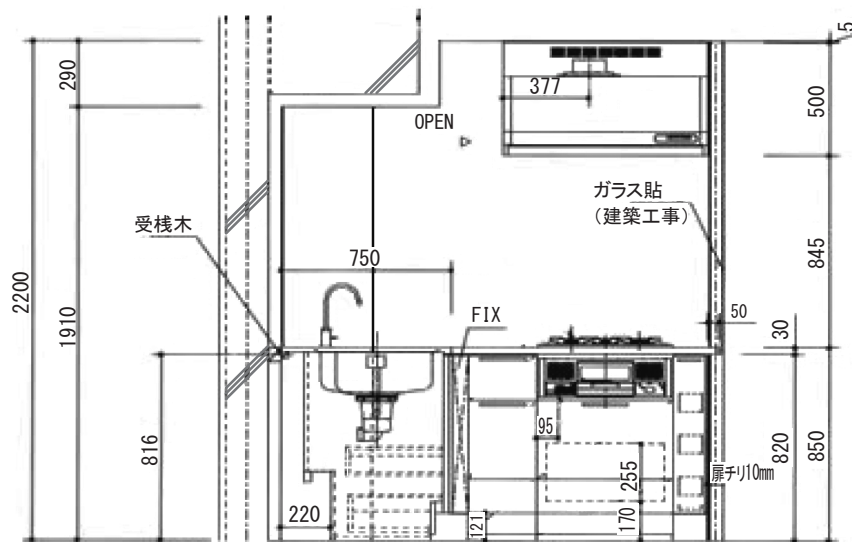
280

900

(クリア) 5.5

(タイル) 7

22.5



A number line diagram with a horizontal line. Above the line, the numbers 95, 425, 400, 300, 600, 150, and 22.5 are written from left to right. Below the line, the numbers 55, 5.5, and 7 are written from left to right. Vertical tick marks are present on the line. Lines connect the numbers 95, 55, 425, 400, 300, 600, 150, and 22.5 to their respective tick marks. The number 5.5 is not connected to a tick mark.

1 シンク側のワークトップの奥行きは mm である。

【語 群】 1. 650 2. 700 3. 750

2 梁のために下り天井になっている部分の天井高は mm である。

【語 群】 1. 1910 2. 1925 3. 2200

3 ワークトップ天板からレンジフード下端までの寸法は mm である。

【語 群】 1. 800 2. 845 3. 900

4 ワークトップ天板の見付寸法は mm である。

【語 群】 1. 10 2. 30 3. 50

第31問 ショールームの運営・実務に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 ショールームの展示は、店内全体を視覚的に統一し、調和のある に基づいた計画にすべきである。

【語 群】 1. POP 2. CAD 3. VMD

2 減価償却費は売上高に関係なく発生する に含まれる。

【語 群】 1. 固定費 2. 変動費 3. 準変動費

3 顧客の質問やネガティブな発言に対して即応するなどのやり取りを通じ、顧客との対話をスムーズに進め、顧客・販売側双方の利益に結び付く方向に誘導するセールス話法を総じて という。

【語 群】 1. 説得話法 2. 応酬話法 3. 説明話法

4 店舗の売上高は、来店客数と成約率と を乗じた積で試算することができる。

【語 群】 1. 見積数 2. 客単価 3. 利益率

第32問 マーケティングに関する次の記述の 部分に、下に記した語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

消費者分析の考え方として知られる AIDMA の法則は、消費者の購買行動に至るまでの短期的なプロセスを示すモデルで、購買心理には注意→ ア →行動という段階があるとされる。

ニーズ階層理論は、アメリカの イ によって提唱された人間の基本ニーズに関する理論である。人間には ウ つの階層からなる基本ニーズがあり、最上位のニーズは エ であるとされる。

- 【アの語群】
1. 記憶連想 → 欲求 → 興味
 2. 欲求 → 興味 → 記憶連想
 3. 興味 → 欲求 → 記憶連想

- 【イの語群】
- | | | |
|-----------|---------|--------------|
| 1. コーブランド | 2. マズロー | 3. ローランド・ホール |
|-----------|---------|--------------|

- 【ウの語群】
- | | | |
|------|------|------|
| 1. 3 | 2. 5 | 3. 7 |
|------|------|------|

- 【エの語群】
- | | | |
|---------|-------|-------|
| 1. 自己実現 | 2. 尊重 | 3. 安全 |
|---------|-------|-------|

第33問 次の財務諸表のア～エの各部分について、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

ア		(単位：千円)	
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産		流動負債	
現金預金	3,400	ウ	3,200
売掛金	1,500	短期借入金	400
イ	400	固定負債	
固定資産		長期借入金	3,400
土地	3,500	純資産の部	
建物	2,800	資本金	5,000
機械	1,900	利益剰余金	エ
資産合計	13,500	負債純資産合計	13,500

- | | | | |
|--------|----------|----------|----------------|
| 【アの語群】 | 1. 損益計算書 | 2. 貸借対照表 | 3. キャッシュフロー計算書 |
| 【イの語群】 | 1. 商品 | 2. 車両運搬具 | 3. ソフトウェア |
| 【ウの語群】 | 1. 支払手形 | 2. 受取手形 | 3. 有価証券 |
| 【エの語群】 | 1. 1,500 | 2. 2,000 | 3. 2,500 |

第34問 店舗の利益管理に関する次のア～エの記述に対して、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。ただし、仕入原価500円の商品を1,000円で販売し、固定費10万円で営業しているものとし、仕入原価以外の変動費用は考慮しないものとする。

ア この店舗の損益分岐点売上高

【語 群】 1. 15万円 2. 20万円 3. 25万円

イ この店舗の利益が5万円となる売上高

【語 群】 1. 30万円 2. 35万円 3. 40万円

ウ この店舗の固定費が5万円増加した場合の損益分岐点売上高

【語 群】 1. 25万円 2. 30万円 3. 35万円

エ 商品の仕入原価が低減した場合の損益分岐点売上高の変動

【語 群】 1. 上がる 2. 変わらない 3. 下がる

第35問 契約に関する次の記述の 部分に、それぞれの語群の中から最も適当なものを選んで、解答欄の番号にマークしなさい。

1 民法では、契約の典型的なものとして ア 種類の契約が規定されている。

【語 群】 1. 10 2. 13 3. 16

2 訪問販売においてクーリング・オフが適用になる期間は、クーリング・オフがなじまない商品、役務の場合や特定商取引法等に反する勧誘をされた場合などを除き、法定の契約書面等が交付された日を含めて イ 日間である。

【語 群】 1. 5 2. 8 3. 14

3 売買契約が成立するのは ウ ときである。

【語 群】 1. 当事者間の意思表示が合致した
2. 代金が支払われた
3. 財産権が相手方に移転した

4 売買代金300万円の内金としての手付100万円が売主に対して支払われた場合、売主は契約の履行に着手する前に エ 円を現実に提供すれば契約を解除できる。

【語 群】 1. 100万 2. 200万 3. 300万

第36問 消費者契約法に関する次の1～5の記述のうち、最も不適当なものを2つ選んで解答欄の番号にマークしなさい。(1行に2つの番号をマークしないこと)

- 1 事業者の債務不履行により消費者に生じた損害を賠償する責任の全部を免除する条項は無効である。
- 2 消費者契約法で規定される取消権は、当該消費者契約の締結の時から五年を経過したときは、時効により消滅する。
- 3 消費者は、事業者が消費者契約の締結について勧誘をするに際し、当該消費者に対して重要事項について告げられた事実と異なる内容が、事実であると自ら誤認し、それによって当該消費者契約の申込み又はその承諾の意思表示をしたときは、これを取り消すことができない。
- 4 消費者契約法の目的には、訪問販売や通信販売などの特定商取引を公正にし、及び購入者等が受けることのある損害の防止を図ることが含まれる。
- 5 退去妨害とは、事業者が消費者契約の締結について勧誘している場所から消費者が退去する旨の意思を示したにも関わらず、その場所から退去させないことをいう。